

市町村合併と留萌の将来像②



先月号に続き、5月に行われた「まちづくり懇談会」での
市民と市長の意見交換の概要を報告します。

7月からは法定協議会での議論が始まり、秋には、新市まちづくり計画が策定されます。
留萌市では、その計画をもとに、再度、まちづくり懇談会を開催するとともに、
合併の是非についてのみなさんご意見を集約する予定です。

Q 小平町、増毛町の住民が、留萌の財政状況に不安を持っているようですが？

A 新聞に、留萌市の借金について、小平町、増毛町の住民が不安視する記事がでています。

借金の残高を比べると、総額で、留萌市539億円、増毛町148億円、小平町114億円と、留萌市が一番多くなっています。住民一人当たりでは、留萌市195万円、増毛町245万円、小平町265万円と、留萌市が一番少なくなっています。

一方、地方税（収入）は、住民一人当たりで留萌市10万円、増毛町6万5千円、小平町6万7千円と、留萌市が一番多くなります。

税収で借金の返済をすると、留萌市で20年、小平町、増毛町は30年以上かかる計算になります。

Q 基金（預金）の状況はどうなっているのですか？

A 基金は自治体の預金です。総額で、留萌市8億円、増毛町8億円、小平町17億円あります。

そのうち使えるお金（特別な使い道が決まっていない預金）は、留萌市4億円、増毛町6億円、小平町15億円程度で、住民一人当たりでは、留萌市1万4千円、増毛町10万円、小平町36万円となります。

3市町とも借金が預金を大きく上回っているのが分かります。

Q 合併の場合は「ゆるやかな行財政改革」、単独の場合は「急激な行財政改革」となるのは、どうしてですか？

A 平成15年度は、留萌市の一般会計予算140億円のうち地方交付税（国からの仕送り）は約50億円（予算の約1/3）、増毛町は予算47億円のうち24億円（約1/2）、小平町は予算48億円のうち約26億円（約1/2）でした。

もし交付税が10%減額されると、財政の規模が小さく、交付税の予算にしろ割合が大きいほど、収支のやりくりが非常に厳しくなります。

留萌市は、行政改革で、業務の民間委託、職員の削減などを行ってきましたが、それにも限界があり、単独の場合、赤字運営にならないためには、新たな負担増やサービスの見直しなど、2〜3年の間に、急激な改革が必要になります。

合併の場合は、財政の規模も大きくなり、職員の数もふくらみ、支出や人員の削減に余裕が生まれます。これがスケールメリットです。そのため、行財政改革を時間をかけてゆるやかに進めることができるようになります。

Q 合併した場合、市の長期的な計画はどうなりますか。新たなハコモノ建設を考えるとどうですか？

A 合併の際には、3市町の基本政

策をすり合わせ、継続するか、見直しをするかを調整することになります。各市町の長期的、重要な課題や計画は、続けることになるはずですが、合併によって、どうしても必要な施設があれば、合併特例債（借金）を使い建設しますが、基本的には使いたくありません。

Q 合併後は職員のリストラはするのですか。退職で職員が減りますが、新規採用がないと年齢構成のバランスが崩れます。対応策は？

A 合併によるリストラは、法律で禁じられているので、3市町の職員全員が新市の職員になります。

将来的な職員数は、合併した場合の人口3万9千人と同じ規模の自治体の職員数を参考にしています。退職を待ち、新規採用を控えると職員の年齢構成のバランスが崩れるので、財政状況もみながら、新規採用を考

Q 合併によって、地域が衰退するということ矛盾はありませんか？

A 合併で寂れるのではないかと不安は、小さな町村にはあるでしょう。地域の特徴を生かし、寂れるところがないようにみんなで工夫しなければいけません。

増毛は漁業、歴史的なまちなみ、果物、小平は農業、ニシン番屋、留萌は交通、港・物流、商業など各々に特徴があります。

役場がなくなるという不安もあると思いますが、地域独自の政策ができるように、地域の自治の仕組みを取り入れることを検討しています。

合併するのであれば、経費の削減のためという消極的な合併ではなく、地域がまとまって新しい力を生み出す、新しい目標に向かい地域全体が栄える合併になるよう取り組みたいと思います。

Q 合併の決定には、市民の意見を尊重して欲しい。住民一人ひとりの問題だから、各町内会長に賛成・反対を聞いた上で、3市町で住民投票をし、賛成・反対をはっきりさせたらどうですか？

A 合併は、法律上は各首長が議会に提案し、議会が議決してきまします。しかし、市町村合併はこれからのまちのあり方を決める、大切な問



題なので、市民のみなさんの意思を聞く必要があります。

住民投票は、賛成・反対で白黒をつけられますが、それ以外の市民の気持ちも分かれます。また法的に根拠がないので、結果に強制力が生まれません。

アンケートは、設問によっていろいろなことを聞けますが、住民投票ほどの明確さ、真剣さが生まれません。でも、市民の意識をつかむという効果は同じです。今回の場合は、アンケートの方が適していると思います。

いずれにしても、なんらかの方法で、みなさんの意見を把握します。

Q 市長の強いリーダーシップで合併を進めて欲しいが、市長の気持ちを聞かせてほしい。

A 「将来的に単独で行ける」と胸を張って言える自信がないので、現在協議会で合併の可能性を議論してい

●●● 出前トーク ●●●
市役所では、市町村合併について、「出前トーク」を受け付けています。合併問題、留萌の将来のことなどについて担当職員がご説明します。
町内会、サークルなど少人数でもかまいません。お気軽に、お申し込みください。

問合せ申込み 企画調整グループ ☎42・1809